

日 絹 月 報

平成 24 年 8 月号 第 425 号

発行：一般社団法人日本絹人織織物工業会

日本絹人織織物工業組合連合会

Tel 03-3262-4101

URL <http://www.kinujinsen.com>

日絹月報はホームページでも閲覧できます。

— 本号の主なニュース —

1. 「日本再生戦略」の閣議決定について
2. 織産連常任委員会開催について
3. 第 62 回繊維通商問題研究会の開催について
4. 国家公務員の再就職等規制に関する制度の周知について
5. 大飯原発 4 号機の再起動に伴う節電目標の改定等について

◇ 「日本再生戦略」の閣議決定について ◇

政府は 7 月 31 日、「日本再生戦略」を閣議決定した。

2020 年度までの経済成長戦略を描いた「日本再生戦略」では、環境、医療、観光など 11 の戦略分野で 38 の重点施策を掲げ、約 630 万人の雇用を創出する。

さらに、重点施策の中で、今後の国内の需要が見込め、暮らしの向上や経済・地域の活性化などに結びつくグリーン（エネルギー・環境）、ライフ（健康）、農林漁業（6 次産業化）の重点 3 分野と、その担い手となる「中小企業」を加えた 4 つのプロジェクトを集中的に実行する。

（4 つのプロジェクト）

① 一革新的エネルギー環境社会の実現プロジェクトー

（2020 年目標 50 兆円以上の需要創造と 140 万人以上の雇用創造）

・多様な分野でのエネルギー技術のイノベーションによる新産業の創出や産業構造の変化

・再生可能エネルギーの導入促進

② 一世界最高水準の医療・福祉の実現プロジェクトー

（2020 年目標 50 兆円以上の需要創造と 28 万人の雇用創造）

- ・医療、介護、生活支援サービス等の包括提供
- ・革新的医薬品・医療機器の創出
- ・医療システム等の海外展開

③－6次産業化する農林漁業が支える地域活力倍増プロジェクト

（2020年目標 6次産業化の市場規模10兆円）

- ・6次産業化による農林漁業の活性化
- ・意欲ある若者や女性等の就農促進
- ・輸出促進と日本の食文化の発信

④－いちいさな企業に光を当てた地域の核となる中小企業活力倍増プロジェクト

（2020年目標 中小企業の海外売上比率4.5%）

- ・グリーン、ライフ、農林漁業を担う中小企業の活力向上
- ・きめ細かなサービスや商品の新たな提供
- ・中小企業の活躍による日本ブランド再生

※特に、今後3年間は、力強い日本再生に向けて施策を進める重要な期間であり、「集中取組期間」として、施策を重点的、着実に実施する。

（詳細は下記ホームページをご覧ください）

<http://www.kantei.go.jp/jp/headline/rebirth.html>

<http://www.npu.go.jp/saisei/images/pdf/RightNaviHonbun.pdf>

◇ 繊維産連常任委員会開催について ◇

日本繊維産業連盟は7月23日東京で常任委員会を開催した。

下村会長は現在の状況を「内憂外患の状況」と発言。状況は昨年よりも厳しくなりつつあるとし、中国・アジアのビジネスが欧州危機の影響で変調をきたすが、アジアが世界経済を牽引する潮流に変わりはなく、グローバルな視点で事業構造改革推進することが重要であると強調した。

環境問題、製品安全問題への対応については、繊維製品の安全性自主基準の普及の徹底を図る。通商問題については発効したアセアンを中心とするF T Aの積極的な活用とアジアとの連携を強化。広域連携であるT P P交渉への早期参加、日中韓F T Aの推進、日E UのF T A推進を業界ベースで取り組む。また、I S Oで検討されている繊維製品の表示ルールや機能素材の測定・評価基準等についても日本がイニシアチブをとって国際標準化を進め、欧米で先行する各種環境基準への対応を強化することも欠かせない活

動という考えを示した。

11月28日に韓国釜山で開催される第3回日中韓繊維産業発展・協力会議に向け5月のワーキンググループで3カ国が担当するテーマが決り、日本は「環境・安全問題」を発表することになった。韓国が「日中韓F T A」、中国は「ファッション振興への取り組み」を担う。

◇ 第62回繊維通商問題研究会の開催について ◇

第62回繊維通商問題研究会が開催され、(1)日本の繊維貿易の現状、(2)E P A交渉の状況(カナダ、豪州等)、(3)E P A産業協力の状況、(4)7/20タイ繊維産連とのE P A産業協力ワーキングコミッティー開催について各々説明があり意見交換が行われた。

1. 日本の繊維貿易の現況について

(全般)

2012年1～5月の累計で輸出は前年同期比99.5%(円ベース)、輸入は同103.1%となった。

2009年～2011年と回復してきたが、頭打ちの感あり。ドルベースでは1～5月累計で輸出は前年同期比102.4%、輸入は106.3%と漸増。

2012年5月単月に関しては、輸出は円ベースで66,070百万円(前年同月比100.5%)、輸入は円ベースで255,676百万円(前年同月比105.9%)と輸出入共にほぼ横ばい。

引き続き貿易全体に頭打ち。輸出は前年比割れ。綿セクターは単価ダウンの影響が大きく、輸出入ともに減少幅が大きい。輸出に関しては、欧州向けは一層の減少、A S E A Nはまずまず、中国向けはじわじわと減少傾向。輸入はベトナム、インドネシア、ミャンマーの割合が高く、バングラデシュは大幅増が続いている。中国の構成比は漸減傾向にある。

(輸出)

1～5月累計で、円ベースは、前年比で繊維原料は98%、糸類(紡績糸・合繊糸)は102%(合繊糸は約102%、綿糸は約67%)、織物は102%(綿織物は93%、合繊織物は109%)、二次製品は約98%。

(輸入)

１～５月累計で、円ベースでは、前年比で繊維原料は８２％、糸類（紡績糸、合繊糸）８４％（綿糸は５８％、毛糸は１２３％、合繊糸は９０％）、織物は９４％（綿織物７７％、毛織物９３％、合繊織物１０６％）、二次製品は約１０５％。

（各地域・国別輸出入の動向）

（輸出）

- ①. ２０１２年１～５月累計で、円ベースでは、東南アジア（中国含む）向けは前年比９９％と横ばい、欧州８８．５％と引き続き減少、米州１１０．２％と微増。
- ②. アジアでは、タイ向け１２３％、ベトナム向け約１１６％、インドネシア向け１０９％とアセアン主要国向けが増加。台湾、韓国、パキスタン、バングラディッシュ向けは減少。中国も９７．１％と先月に続き減少傾向。

（輸入）

- ① ２０１２年１～５月累計で、円ベースでは、東南アジアが前年比１０３．６％、欧州１０１．５％、米州８７％と減少。
- ② アジアでは、ベトナム１２４％、インドネシア１１９％、ミャンマーから１４３．６％、アセアン全体では１２０％と世界全体（１０３．６％）以上の水準の輸入、バングラディッシュは１６２．８％と依然大幅増。パキスタン９０．６％、インド１００％、中国は１００．９と横ばい。中国の構成比は７２．０％と漸減。

２．次回日程について

次回は、８月２８日（火）１４：００－１６：００。議題は後報。

◇ 国家公務員の再就職等規制に関する制度の周知について ◇

国家公務員法では、国家公務員が再就職をあっせんする行為、在職中に利害関係を有する企業・団体に対して求職活動する行為、出身省庁に対してＯＢが便宜供与を要求する行為が禁止されているところです。

今般、経済産業省より、再就職等規制違反行為あるいはその疑いを招きかねない行為が発生しないよう、国家公務員だけでなく、その再就職先となり得る所管業界の企業・団体に対しても周知及び遵守を徹底する協力依頼がありました。

つきましては、貴組合におかれては別添の「国家公務員の再就職等規則」の周知徹底方ご協力いただきますようお願いいたします。

なお、内閣府のホームページからも詳細について情報入手できますのでご覧ください。

◇大飯原発4号機の再起動に伴う節電目標の改定等について◇

平成24年7月25日未明、大飯原子力発電所4号機が定格熱出力一定運転に達したことを踏まえ、「大飯原子力発電所4号機の再起動に伴う節電目標の見直しについて（平成24年7月25日 電力需給に関する検討会合 エネルギー・環境会議 合同会合）」に基づき、平成24年7月26日より、中部電力、北陸電力、中国電力、関西電力及び四国電力の節電目標が改定されます。

また、これを踏まえて、「大飯原子力発電所3、4号機の再起動に伴う「セーフティーネットとしての計画停電について」の見直しについて（平成24年7月25日 電力需給に関する検討会合 エネルギー・環境会議）」に基づき、平成24年7月26日より、関西電力管内の計画停電の運用が変更されます。

○節電目標の改定概要

節電目標を7月26日（木）から下記の通り改定（※数値は一昨年比）

中部・北陸 [▲4%以上 → 数値目標を伴わない節電]

中国 [▲3%以上 → 数値目標を伴わない節電]

関西 [▲10%以上 → ▲10%以上]

（生産活動に支障が生じる場合は▲5%以上）

四国 [▲7%以上 → ▲5%以上]

九州 [▲10%以上 → ▲10%以上（変更無し）]

北海道 [▲7%以上 → ▲7%以上（変更無し）]

東京・東北 [数値目標を伴わない節電→数値目標を伴わない節電（変更無し）]

◇ 「資金調達ナビ」最新の支援情報(全国版) ◇

中小機構では、J-Net21 スタッフが全国の省庁や都道府県庁、支援センターなどの公的機関のサイトに発表されている WEB 情報を収集し、リンク情報として紹介しています。資金制度、募集中の資金情報を資金調達の目的、方法、都道府県別に検索できますので実施されている事業にあわせて情報を入手することが出来ます。

中小機構ホームページ <http://j-net21.smrj.go.jp/raise/index.html>
(日絹ホームページからもリンクしていますので御利用下さい)
(全国版)

2012/7/26 掲載

平成 24 年度 エネルギー使用合理化事業者支援事業の 2 次公募

(環境共創イニシアチブ)

既設の工場・事業場等における先端的な省エネルギー設備の導入であって、「技術の先端性」、「省エネルギー効果」、「費用対効果」を踏まえて政策的意義が高いと認められ、交付規程及び公募要領の要件を満たす事業に対して国庫補助金の交付を行います。

・募集期間：2012/7/25～2012/8/24

2012/7/19 掲載

割賦制度の利用 (中小企業基盤整備機構)

7 月 11 日、割賦制度の利用が更新されました。割賦制度を利用すると、初期投資の負担が軽減されます。

2012/5/29 掲載

均衡待遇・正社員化推進奨励金 (厚生労働省)

パートタイム労働者や有期契約労働者の雇用管理の改善を図るため、正社員への転換制度や正社員と共通の処遇制度などを設け、実際に制度を適用した事業主に対して支給する奨励金です。

◇経済産業省人事異動◇

○ 8月20日付 新 旧

転入される方

片岡 進 様 繊維課課長 フランス大使館 参事官(商務担当)

転出される方

田川 和幸 様 内閣府 内閣官房 繊維課課長
行革推進室 参事官

動 向

7月23日 日本繊維産業連盟 7月度常任委員会
7月24日 日本繊維産業連盟 第62回繊維通商問題研究会
7月25日 関東織物産地連絡協議会 平成24年度 7月例会
7月26日 日本関税協会 第62回事業報告会
7月31日 日本絹業協会 純国産絹マーク審査委員会
8月 2日 日本繊維産業連盟 幹事会
8月 6日 全国中央会 下請代金法・下請ガイドライン説明会
8月 7日 第32回繊維産業に於ける環境・安全問題検討WG

会議予定

- ☆ 当会 JFW ジャパンクリエーション 出展者説明会
8月21日(火) 12時～14時 於 日絹会館
- ☆ 産業技術総合研究所 平成24年度 国際標準推進戦略シンポジウム
8月22日(水) 13時00分～17時30分 於 イイノホール
- ☆ 日本繊維産業連盟 第63回繊維通商問題研究会
8月28日(火) 14時 於 繊維会館
- ☆ 日本繊維産業会議 合同幹事会
8月29日(水) 15時00分～17時50分 於 ゼンセン会館
- ☆ 全国中央会 組織専門委員会

- 9月 7日(金) 13時30分～16時00分 於 全中・全味ビル
- ☆ 日本絹業協会 純国産絹マーク審査委員会
- 9月11日(火) 14時 於 蚕糸会館
- ☆ 当会 資産運用検討委員会
- 9月12日(水) 11時30分 於 日絹会館2F
- ☆ 当会 生糸対策特別委員会
- 9月12日(水) 12時30分 於 日絹会館2F
- ☆ 日本絹業協会 臨時総会
- 9月21日(金) 15時 於 蚕糸会館

イベント

- ☆ 第74回 東京インターナショナルギフトショー
9月5日(水)～7日(金) 10時～18時
(最終日 17時まで)
会場：東京ビッグサイト(全館)
- ☆ TEXWORLD PARIS 2012
9月17日(月)～20日(木) 9時30分～18時
(最終日 16時30分まで)
会場：パリ ル・ブルジェ見本市会場